

令和6年度下期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和6年8月15日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

<応募総数>

135件（一般助成A 84件 一般助成B 51件）

<助成予定件数>

62件（一般助成A 34件 一般助成B 28件）

<審査結果一覧>

	申請件数		助成予定件数	
	一般A	一般B	一般A	一般B
演劇	23	24	9	15
邦楽	3	0	1	0
邦舞	0	2	0	1
洋楽	28	12	9	6
洋舞	6	3	2	1
古典芸能	7	3	5	2
大衆芸能	6	1	4	1
美術	10	5	4	2
映画	1	0	0	0
合計	84	51	34	28

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和6年8月15日時点)>

委員名	役職
宮崎 優也	アーツカウンシル統括責任者 独立行政法人日本芸術文化振興会 プログラムオフィサー
垣沼 絢子	立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員
北村 智子	アートアドミニストレーター
塚原 悠也	京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター アーティストユニット ContactGonzo ディレクター・パフォーマンス 京都市立芸術大学彫刻専攻 講師
畑 律江	毎日新聞客員編集委員
沼田 里衣	大阪公立大学大学院文学研究科文化構想学科 准教授
広瀬 依子	追手門学院大学文学部 講師
原 久子	大阪電気通信大学総合情報学部 教授

令和6年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成B 下期募集分】

分野	No.	申請団体名	事業名
演劇	1	階	「窓の階公演 『ここはどこかの窓のそと2』」
演劇	2	工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTO-10	「工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTO-10第24回公演 『ストア派おじさん、故郷に帰る』」
演劇	3	株式会社 関西芸術座	「関西芸術座公演 『ムッシュー・フューグ あるいは陸酔い』」
演劇	4	有限会社キューカンバー	「MONO第52回公演 『タシウノエン』(仮)」
演劇	5	音物語	「第56回音物語公演 『おひさまへの一歩』」
演劇	6	yhs	「四谷美談 大阪公演」
演劇	7	株式会社劇団往来	「第59回公演 『しんしゃく源氏物語』(仮)」
演劇	8	株式会社INDEPENDENT	「最強の一人芝居フェスティバル 『INDEPENDENT:24』」
演劇	9	有限会社遊機械オフィス	「ア・ラ・カルト公認レストラン 僕のフレンチ2024 ライブver. (仮)」
演劇	10	THE ROB CARLTON	「THE ROB CARLTON 18F 『THE STUBBORNS』」
演劇	11	空晴	「空晴番外公演」
演劇	12	一般社団法人HMP	「エイチエムピー・シアターカンパニー〈都市をかたどる劇文学〉 『アラビアの夜』&『メイド・イン・ジャパン』」
演劇	13	NPO法人大阪現代舞台芸術協会	「NPO法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE) × NPO法人こころネットKANSAIコ ラボレーション企画 『あなたのとなりに』」
演劇	14	一般社団法人清流劇場	「清流劇場2024年10月公演 『ヘカベ、海を渡る』」
演劇	15	劇団未来	「劇団未来第148公演 『サド侯爵夫人』『わが友ヒットラー』2本立て」
邦舞	16	有限会社 児雷也	「新伝統サスティナブルSTAG 地球舞語り episode2」
洋楽	17	WAY OUT WEST	「能楽堂のヤコブ・ブロ」
洋楽	18	Atelier Pianopia株式会社	「オールスター ミニピアノフェスティバル」
洋楽	19	オブングク堂cafe	「夢みる星空音楽会」
洋楽	20	マルガサリ	「コンサート『ふるえ ゆらぎ ただよう』(仮)」
洋楽	21	そう楽舎	「上方西洋古楽演奏会シリーズ2025早春 『フランスのコメディ・バレへの憧れ』その5『町人貴族』」
洋楽	22	一般社団法人Reise	「Re selection of books 事業」
洋舞	23	N-Trance Fish	「N-Trance Fish THE FINAL 『unknow world』(仮)」
古典芸能	24	株式会社セクターエイティエイト	「笑欲の秋 落語と狂言～満腹セット～」
古典芸能	25	女義太夫の会	「義太夫体験教室」
大衆芸能	26	有限会社 東西屋	「どっこい！ちんどん通信社40周年大感謝祭」
美術	27	SUCHSIZE	「SUCHSIZE 秋・冬 展(仮)」
美術	28	空花	「リサイタル 『SKY』」

交付決定件数(一般助成B)

28件

交付決定額計

12, 973, 000円

令和6年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成A 下期募集分】

分野	No.	申請団体名	事業名
演劇	1	劇団五期会	第77回公演『流れ星』
演劇	2	三俣婦人会	第五次総会『おまえのハンサムはギャグなのか』
演劇	3	アヤ-ナ-シ	第一回公演『モグラの雨やどり』
演劇	4	万博設計	万博設計15「夏の時間」
演劇	5	ボラ☆ボラ	カラ☆ボラ2024 音楽×演劇『タビのトモ』
演劇	6	超人予備校	第17回本公演「カンボケ社」
演劇	7	WINGCUP実行委員会	(仮題)初めの一步を応援するスタッフワークショップ「ココカラ～仕込みで動ける人になるう～」
演劇	8	ハネモノNo.4	屋上のペーパームーン
演劇	9	劇団ジャブジャブサーキット	「正劇オセロと貞奴」
邦楽	10	特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会	Forest Wind Concert ～風にまつわるエトセトラ～
洋楽	11	レガータ	創立50周年 18th レガータコンサート “ねがい”
洋楽	12	岡田智則	「関西ニューウェーブの軌跡」～EXPO'70から現代、大阪文化と音楽～
洋楽	13	小林千晃	落語とオーボエによるシナジー ～オウディウスによる6つの変身物語を舞台にして～
洋楽	14	一般社団法人アンサンブル・レネット	もうすぐ万博 “愛を歌う音楽”で世界とつながろう！
洋楽	15	廣澤敦子	「廣澤敦子メゾ・ソプラノリサイタル 歌物語 第十九巻 異国へのあこがれ」
洋楽	16	全国児童・青少年演劇協議会	つながるコンサート
洋楽	17	麓朝光	アルゼンチンタンゴコンサート&ワークショップ
洋楽	18	関西合唱団	創立75周年記念第87回定期演奏会
洋楽	19	Rendez-vous des Artistes	Rendez-vous des Artistes Concert Vol. 5
洋舞	20	植野晴菜	TRAIL-跡-
洋舞	21	一般社団法人表現者工房	Witches(仮) 大石裕香×工藤朋子×サリngROCK
古典芸能	22	梅猶会	大阪定期能楽公演
古典芸能	23	正陽会	第39回 正陽会
古典芸能	24	一般社団法人関西伝統芸能女流振興会	麻の葉サロン
古典芸能	25	大阪ミナミ国際文化交流委員会	上方文化講座
古典芸能	26	義太夫節を楽しむ会	義太夫節演奏会
大衆芸能	27	桂文我	秋の恒例 桂文我独演会
大衆芸能	28	福楽会	連続公演 福楽の底力vol.132～vol.137
大衆芸能	29	真山隼人	蘇る浪曲 真山隼人の会 第3回
大衆芸能	30	沢村さくら	二十五周年記念 曲師の会vol.29
美術	31	パケクション	「パッケージング・オールナイト」展
美術	32	橋爪皓佐	個展『私の周波数(たち)My Frequencies』
美術	33	八島良子	「メント・モモ」出版記念展(仮)
美術	34	NPO法人淀川アートネット	十三アートフェス2024

交付決定件数(一般助成A)	34件
交付決定額計	6,095,000円

令和6年度 大阪市芸術活動振興事業助成金（一般助成A・一般助成B）下期審査について

2022年度より新体制となった大阪府市文化振興会議アーツカウンスル部会（以下、大阪アーツカウンスル）は、今年で3年目の活動半ばに差し掛かりました。これまでの活動を通じて、できる限り本助成金採択活動の視察やヒアリングを行い、大阪の芸術や文化を支える芸術文化関係者の皆さまの熱意ある活動を直接拝見してまいりました。そして、この審査がいかに重要で責任の重いものであるかを審査員一同で共有し、慎重に審査に臨みました。

令和6年度、一般助成枠Aでは、合計84件（うち新規が44件）の申請があり、うち34件（新規は10件）を採択しました。一般助成枠Bでは、合計51件（うち新規は29件）の申請があり、うち28件（新規は13件）を採択しました。採択率は一般助成枠Aで約40%、一般助成枠Bで約55%となり、両枠を合わせた申請総数は135件（うち新規は73件）、うち62件を採択し、全体の採択率は約46%という結果になりました。

審査においては、事前に公表されている審査基準に基づき、審査員が採点を行いました。審査会当日には、審査員同士で活発な議論を重ね、点数が上位の活動から採択を決定しました。

一つ一つの申請書に真摯に向き合う中で、申請者の熱い想いに触れ、できる限りの支援をしたいという気持ちが審査員の間で強く湧き上がりました。しかし、予算の限界もあり、残念ながらすべての申請を採択することはできませんでした。多忙な中、本助成金の申請書類をご準備いただき、申請して下さったすべての皆さまに深く感謝申し上げます。

申請全体を見渡したとき、申請内容の質が向上していると強く感じました。さらに、上期に採択された活動を視察した際、これらの活動が単なる芸術表現にとどまらず、社会の不平等や環境問題といった現代社会が抱える課題に対して、芸術や文化が果たすべき社会的なメッセージを反映している事例が多く見受けられました。こうした点から、芸術文化はその本質的な価値を保ちながら、時代とともに進化し、ますます社会的な役割を果たすようになってきていると感じております。

本助成金は、募集案内に記載されている通り、「芸術活動の水準向上と発展を図るとともに市民の文化・芸術の振興を図る」ことを目的としています。したがって、申請書において本助成事業の目的達成に向けた具体的な活動内容や設計が明確に説明されていることが重要となります。

そのため、実際に素晴らしい活動をされていたとしても、申請書において本助成事業の目的達成に必要な具体的な活動内容や設計が十分に説明されていない場合、審査において加点が難しい状況となりました。特に、活動の魅力や収支計画の整合性が不十分なものについては、評価が難しいケースが散見されました。

審査員は、申請書の記述が不十分という理由だけで採択しないということがないように、できる限りのフォローを行っています。しかし、申請数が多いことから、内容が簡潔に伝わらないものは評価されにくく、その結果として不採択となる場合も見受けられました。

また本助成金では、若手支援枠やスタートアップ支援枠といった特定の 카테고리 を設けておりません。しかしこれは、若年層や活動を始めたばかりの方々が、経験豊富な方々と同じ基準で評価されるということではありません。

審査員は、すべての申請者の現状や活動状況を踏まえ、その申請活動がどのような位置付けにあり、どのような今後の発展性を持つのかを、公表されている審査基準に基づいて審査しています。また、大阪市における多様な芸術文化活動のすべてに対して平等に審査を行うという前提があるため、助成をする大阪市および審査をする大阪アーツカウンシルが特定の内容に重点を置くことで、その他の分野が阻害されることのないよう努めています。

大阪アーツカウンシルでは、審査を単なる助成金配分のための点数付けではなく、大阪における個人や団体の現状や課題を共有する場として位置付けています。また、助成金制度に関しても、審査を通じて浮かび上がった問題点や課題を引き続き協議し、適切な対応を講じることを目指しています。

私たちは、大阪府市の文化振興事業の評価や補助金・助成事業の審査だけでなく、文化データの収集や芸術文化関係者のニーズの把握を行うシンクタンクとしての役割や、芸術文化の現場支援、新たな提案の実施にも取り組んでいます。これらの活動を通して、引き続き大阪の芸術文化の環境整備に尽力してまいります。

大阪アーツカウンシル統括責任者
宮崎優也